

かたの民報

議会版

2008年7月27日
NO. 1439

【発行】
日本共産党
市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部 1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835

市立あまたのみや幼稚園を平成22年度末に廃園の方針

市議会 全員協議会

市は、7月18日の市議会全員協議会で、「交野市立幼稚園の今後のあり方基本方針案」として、あまたのみや幼稚園を平成22年度末で廃園にすることを提案しました。
日本共産党は、幼児教育に重要な役割をもつ公立幼稚園を縮小・廃止するべきではないと考えます。

市の「基本方針案」では

「基本方針案」では、今後幼稚園児が減少し、市の財政状況も厳しい中、公立幼稚園3園のうち1園を廃止にするとしています。

具体的には、園児数が比較的少ない第一（あまたのみや）幼稚園について、平成22年度の4歳児募集を停止し、5歳児が卒園する22年度末（23年3月）で廃園にする計画です（保育所部分は存続）。また、廃園後の空き教室を利用して、平成22年度から病後時保育を、平成23年度から一時保育を実施する計画となっています。

廃園は市民の願いに逆行

市は、幼稚園児の減少を廃園の理由にあげています。しかし、公立幼稚園の入園者数はここ数年むしろ増えていきます。（表1）

表 1

公立幼稚園の入園者数
4歳児と5歳児の合計 (人)

| 幼稚園 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|--------|------|------|------|------|
| あまたのみや | 41 | 35 | 46 | 43 |
| あさひ | 46 | 50 | 48 | 53 |
| くらやま | 48 | 57 | 50 | 52 |
| 合計 | 135 | 142 | 144 | 148 |



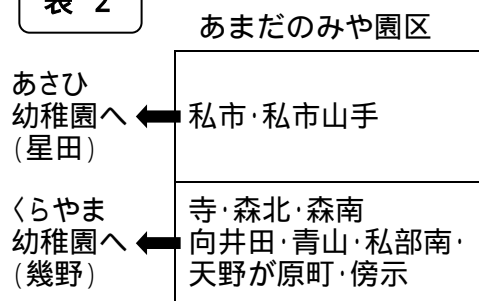
また、4歳児の定員75名（3園合計）に対して、入園者数は今年度69名、昨年度75名とほぼ定員いっぱいという状況が続いています。むしろ今、3年保育の実施など、公立幼稚園の充実こそが望まれているのです。



地元密着の公立幼稚園をなくさないで

市の案では、あまたのみや幼稚園の廃園後は、あさひ幼稚園（星田）と、くらやま幼稚園（幾野）に分かれて遠距離を通勤することになります（表2）。毎日遠距離からの通園は親にも子にも大きな負担です。

表 2



また、地元密着した公立幼稚園がなくなれば、地域とのつながり、小学校との連携も難しくなることが心配されます。

もとめられる公教育の役割

公立幼稚園は、私立園に比べて費用が安く、経済的にも安心です。
また、障がい児も可能な限り受け入れ、加配の保育士をつけて対応しています。

いま必要なのは、幼稚園・保育所の充実をはじめ、子どもの医療費助成の拡充など、子育て世代にとっても魅力ある街づくりをすすめていくことではないでしょうか。

市の廃園スケジュール（案）

H20年9月 広報で基本方針を掲載
パブリックコメントの募集
12月 条例改正を議会に提案

【あまたのみや幼稚園】

H21年度・・・通常どおり
H22年度・・・4歳児は募集停止
5歳児のみで一年間保育
H23年度・・・廃園

市民の声を
届けよう！